

3年生の抱負 作文を紹介します

各学級とも学活の時間を使って、3年生になったの抱負を書きました。みなさん自分がやるべきことを真剣に考えて文章に表現していたようです。この思いを忘れることなく、1年間諸活動に取り組んでほしいです。

1年間の過ごし方

1組 S. K

中学校生活最後の1年の3年生になりました。一日一日が大事な毎日の中で、私はやり遂げたいと思った目標が三つあります。

一つ目は勉強です。コツコツと予習、復習をして、一つでもつまづく問題を減らしていきたいです。

二つ目は部活動です。これまで目標にしてきた中総体で、悔いが残らないような試合をしていきたいと思います。そのために、練習に集中して取り組んでいきたいです。

三つ目は学校行事です。中学校生活で最後の修学旅行、合唱コンクール、バレーボール大会、八木山中祭をみんなで楽しんでいい思い出になるようにしたいです。

三つの目標を達成できるように、これからも充実した生活を送っていきたいと思います。

今やらなくてはいけないこと

1組 S. N

3年生、それは私にとって中学校最後の年でもあり、また、将来を大きく変える受験に向けて準備しなくてはいけない時期なのです。ですから、私は毎日コツコツやる習慣、何事も精一杯やる根性を身に付けていきたいと思います。

例えば部活だったら、基礎練習に毎日コツコツ取り組んで後輩にも指導していくことです。学習面で言えば、どんなに疲れていても「〇ページまではやる」というきまりを作って継続し、授業では、先生の話を理解し、効果的なノート作りで成績をあげたいです。

私は、この目標を達成して、受験という大きな壁を越えたいと思います。

最上級生として

2組 O. R

今年八木中の最上級生となり、部活だけではなく、学校生活でも1、2年生の後輩を引っ張る立場となりました。中学校生活最後の1年は、様々なことが最後となります。最上級生としてやるべきことは、先輩方が残してくださった伝統を後輩に引き継ぐことです。

また、部活や受験を悔いの残らないものにも自分自身にとって重要なことだと思います。今年1年は、高校生活をスタートさせるための土台作りの1年だと僕は考えています。今勉強していることを定着させ、さらに1、2年の復習もしっかりとしていきたいと思っています。

これから行われる行事などを楽しみ、中学校生活を有意義なもので終われるようにしたいです。

3年生になって

2組 O. M

この春私は3年生になりました。3年生と言えば何かとお別れをしなくてはならないものが増えてきます。しかし、それは私にとって新しいスタートでもあると思います。今までは、卒業してどこの高校に行くとか、将来どの職業につきたいなど、まだ本気で考えなくても良かったのですが、もうそんなことは許されません。これは、私が社会人になるための一歩ではないかと思っています。そのためには大きく分けて二つやらなければならないことがあります。一つ目は、自分の好きなことを優先しないことです。今までは必ずと言っていいほど、勉強よりも趣味を優先していたからです。二つ目は、卒業した時に悔いが残らないようにすることです。卒業した時に「あの時もっと勉強するんだった」などという言葉言うのは絶対イヤだからです。だから私は、この二つを目標にして頑張っていきたいです。

3年生での抱負

3組 T. K

僕は昨年、まわりの人たちからたくさんのことを教えてもらいました。しかし、これからはまわりには頼ってられません。3年生に大きく立ち上がる壁、「受験」は、やはり自分との闘いだと思います。そこで僕は目標を立てました。

それは、「自分が必要と感じたことは絶対行う」です。今までは、面倒だからやらないと投げ出してばかりでした。しかし、それではいろいろなことにおいて悔いを残してしまいます。だから、この目標をしっかりと守り、3年生の生活をよいものにしたいです。

危機感

3組 M. T

あっという間に過ぎた中学校生活2年間。ついに僕は「受験生」という最も強いプレッシャーの中で残りの1年間を過ごさなければなりません。

1年生の頃は何も考えず、ただポカーンと日常生活を送っていました。今思えば、その頃にしっかりと危機感を持って勉強するべきだったなど、今さらですが後悔しています。

「部活を引退したら」、「夏休みが終わったら」、なんて言っている人もいますが、僕はそれではもう遅いと思います。

今年は入試制度がガラッと変わり、教科書の内容も増えました。今まで通りの勉強では通用しないかもしれません。

最上級生としての自覚を持ち、勉強も気を抜かず「危機感」を持って、精一杯残りの1年を過ごしていきたいと思っています。

今までの私、これからの私

4組 I. H

今年の3月先輩方が卒業しました。そして4月。いよいよ私たちの出番です。入学してからこれまでの2年間は本当に短いものでした。3年生には、学校を引っ張っていくという大きな役割があります。そして、この先の人生に影響する受験というものがある大きな分かれ目の学年でもあります。もう遊んでいるヒマはありません。自分の力を高めなければならないのです。でも実行しない弱い自分がいます。今年は弱い自分に勝ち、受験を乗り越えることが目標です。森田先生は、夏までに1、2年生の復習ができるかどうかを受験に影響するとおっしゃいました。私は、最近とりかかったばかりです。夏までは長く思えて短いものです。学校の行事にも取り組みつつ、全てをこなすのは大変です。ですが、やるしかありません。先を見通して、自分の未来を切りひらくため頑張っていきたいです。

「マズイ、もう3年生だぜ！」

4組 K. A

僕、熊野了仁は、中学生の中でも最上級生である3年生になりました。結局2年生では何もやり遂げることができませんでした。ですから、3年生では三つの目標をもとに生活することにしました。

一つ目は人間関係です。新しいクラス、新しい後輩、新しい先生とよりよい人間関係を築き、より人に好かれる人間になりたいと思います。

二つ目は勉強です。小学生の頃から自分にはできないと思っていた勉強を、少なくとも高校に入れるくらいには頑張りたいと思います。

三つ目は、やり遂げようとする心を大切にすることです。最低限自分が決めたことはやり遂げようとする心を大切にし、充実した1年間にしたいと思います。

これらの目標をもとに過ごしたいと思います。

3年生になって

4組 Y. A

早くも中学校生活3年目。今年度はもう受験生になるのだ。今まで通りの生活をしていたら、あっという間に1年は過ぎてしまう。そこで私は二つの目標を立てた。

まず一つ目は「家庭学習に集中して取り組む」だ。ただ長々と勉強するだけでは時間のムダになってしまうだけでなく頭にも入らない。これは、家庭学習だけでなく普段の学校の授業でも同じことが言える。

次に二つ目は「時間にゆとりを持ち、テキパキと行動する」だ。ムダな時間を作らないことで、少しでも多く勉強する時間を増やすことができる。

この二つの目標を達成することにより、少しでも多く学習したことが身に付き、中身の濃い中学校3年生の生活ができると思う。